

## PRESS RELEASE

2016年7月29日  
株式会社三菱総合研究所

## 2016年4-6月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より8月15日（月）に公表予定の2016年4-6月期のGDP速報（1次QE）について予測を行った。

2016年4-6月期	実質GDP	季節調整済前期比	▲0.1%	（年率 ▲0.3%）
	名目GDP	季節調整済前期比	▲0.2%	（年率 ▲0.7%）

2016年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.1%（年率▲0.3%）と2四半期ぶりのマイナス成長を予測する。

GDP成長率の押し下げに寄与したのは、消費と輸出である。消費は、1-3月期の閏年要因の剥落により、食料品や交通費、医療費などへの支出が減少し、前期比▲0.2%と2四半期ぶりの減少を見込む。輸出は、新興国経済の減速やインバウンド需要の鈍化を背景に、同▲1.0%と2四半期ぶりの減少を予測する。一方、住宅投資は、着工件数の持ち直しを映じて3四半期ぶりのプラスが予想されるほか、公的固定資本形成も4四半期ぶりの増加を見込む。設備投資は、資本財出荷の持ち直しなどを映じて小幅上昇を見込む。

表 2016年4-6月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比（%）		2015年		2016年	
		7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 予測
実質GDP		0.4	▲0.4	0.5	▲0.1
	季調済前期比年率	(1.7)	(▲1.8)	(1.9)	(▲0.3)
民間最終消費		0.5	▲0.8	0.6	▲0.2
民間住宅投資		1.7	▲1.0	▲0.7	3.5
民間企業設備投資		0.8	1.3	▲0.7	0.2
民間在庫	寄与度	▲0.1	▲0.2	▲0.1	▲0.1
政府最終消費		0.2	0.7	0.7	0.7
公的固定資本形成		▲2.4	▲3.6	▲0.7	1.6
財・サービス輸出		2.6	▲0.8	0.6	▲1.0
財・サービス輸入		1.7	▲1.1	▲0.4	0.1
内需	寄与度	0.3	▲0.5	0.3	0.1
民需	寄与度	0.4	▲0.5	0.2	▲0.1
公需	寄与度	▲0.1	0.0	0.1	0.2
外需	寄与度	0.1	0.1	0.2	▲0.2
名目GDP		0.8	▲0.2	0.6	▲0.2
	季調済前期比年率	(3.0)	(▲0.7)	(2.4)	(▲0.7)
GDPデフレーター	前年同期比	1.8	1.5	0.9	0.6
国内需要デフレーター	前年同期比	▲0.1	▲0.2	▲0.5	▲0.8

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。  
表中の実績値は、2016年1-3月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。  
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

〈本件に関するお問合せ先〉

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号  
政策・経済研究センター 森重彰浩 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp  
広報部 上岡 瀬戸口 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp  
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。